

### 新たな水田農業政策への対応

岩田 隆嘉 議員  
(自民みらい / 伊賀市選出)



#### 問

日本農政は大転換期にあり、国は、5年後をめどとする米の生産調整の廃止、米の直接支払交付金の減額と5年後の廃止、日本型直接支払制度の創設などの新たな水田農業政策を決定しました。このような国の新しい政策の方向を踏まえて、主食用米の生産や水田における麦・大豆・飼料用米などの生産拡大について、県としてどのように取り組んでいくのか、お伺いします。

#### 答

需要に見合った水田作物の生産を念頭に、主食用米の品質向上や高付加価値化、「結びの神」のブランド化をはじめ、集団作付けの推進により、麦・大豆の生産拡大に取り組めます。また、新しい国の制度を積極的に活用しながら、水田農業の活性化に努めていきます。



県が開発したお米「結びの神」

○国民健康保険の広域化 ほか

### 健康寿命の延伸への取り組みを

下野 幸助 議員  
(新政みえ / 鈴鹿市選出)



#### 問

介護を予防するための基準の一つに昨今、健康寿命が取り上げられており、本県では男性が77・1歳、女性が80・1歳となっております。健康寿命とは、平均寿命から障がい期間を引いた年齢であり、障がい期間をいかに縮めていくかが県民にとって大切なこととなります。本県においても健康寿命を意識した取り組みが必要と考えますが、県のご所見をお伺いします。

#### 答

県では、健康寿命の延伸をめざし、生活習慣病の予防・早期発見に向けた取り組みや、運動や禁煙など適切な生活習慣の形成のために、「健康づくり応援の店」などの登録、運動などに関するNPOなどと連携した啓発活動などを行っており、今後も、県民が健康で自立した生活をより長く送ることができるよう、引き続き取り組んでいきます。



「健康づくり応援の店」ロゴマーク

○三重県財政の現状と今後 ほか

### 企業の農業参入と中山間地域での農業

舟橋 裕幸 議員  
(新政みえ / 津市選出)



#### 問

国は、農地中間管理機構の創設を打ち出し、企業の農業参入を進めるとのことですが、地域農業の健全な発展を阻害しないような制度になっていますか。

#### 答

また、機構は農地利用の効率化、高度化が見込まれる区域で重点的に事業を実施するとのことですが、景観形成や貯水機能による防災効果など、多面的な役割を果たしている中山間地域での農業をどう守っていきますか。

○バイオマス系廃棄物の再資源化 ほか



中山間地域の水田農業

### 飲酒運転根絶に向けて

中川 康洋 議員  
(公明党 / 四日市市選出)



#### 問

三重県飲酒運転0をめざす条例は、平成25年6月に議員提出条例として可決し、7月1日に施行(第9条の受診義務については平成26年1月1日施行予定)されました。飲酒運転根絶に対する、知事と警察本部長の決意をお聞かせください。

#### 答

広報啓発活動や飲酒運転防止教育を行い、県民、事業者、行政が一体となって、飲酒運転根絶に向けて取り組みます。交通指導取り締まりを始め、飲酒運転根絶に向けた対策を強力に推進します。

### 県内全域を対象とした防災訓練を

中西 勇 議員  
(みんなの党 / 松阪市選出)



#### 問

県内の市町では、それぞれで防災訓練が行われていますが、災害は市町ごとには起こるものではありません。県が行っている総合防災訓練を、県と市町が連携し、県内全域を対象とした一斉訓練としてはいかがですか。

#### 答

将来的には県内全市町にと目を指しながらも、現在は各市町の災害対応力の強化を重視し、総合防災訓練を実施するとともに、市町の訓練を支援していきます。

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。